

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																															
麻生外語観光&ブライダル専門学校	平成3年1月8日	瀧口 博俊	〒 812-0016 (住所) 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 090-415-2293																															
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒 820-0018 (住所) 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																													
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウエディング科	平成21(2009)年度	-	平成25(2013)年度																													
学科の目的	ブライダル業界に必要な専門知識、資格、技能に加え、将来、業界人としてプロ意識をもち幅広く活躍できるマインドを備えた人材を育成する。																																	
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な検定:ブライダルコーディネーター技能検定3級 進路変更などの理由により中途退学者が発生しており、中退率は12.2%である。																																	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																											
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 1,737 単位時間 単位	819 単位時間 単位	970 単位時間 単位	240 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位																											
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)																															
80人	52人	0人	0%																															
就職等の状況	<table border="1"> <tr><td>■卒業者数(C)</td><td>24</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>20</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数(E)</td><td>19</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>7</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>95</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>37</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>79</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>0</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>未定1人、就職斡旋せず4人 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) ブライダル業界、高見株式会社、株式会社グッドラック・コーポレーション、株式会社ニューアート・シーマ</p>						■卒業者数(C)	24	人	■就職希望者数(D)	20	人	■就職者数(E)	19	人	■地元就職者数(F)	7	人	■就職率(E/D)	95	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	37	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	79	%	■進学者数	0	人	■その他			
■卒業者数(C)	24	人																																
■就職希望者数(D)	20	人																																
■就職者数(E)	19	人																																
■地元就職者数(F)	7	人																																
■就職率(E/D)	95	%																																
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	37	%																																
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	79	%																																
■進学者数	0	人																																
■その他																																		
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL</p>																																	
当該学科のホームページURL	https://asoiku.ac.jp/afc/bridal/																																	
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,029 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>240 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,611 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>240 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>240 単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>						総授業時数	2,029 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	240 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	1,611 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	240 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	240 単位時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位
総授業時数	2,029 単位時間																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	240 単位時間																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																	
うち必修授業時数	1,611 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	240 単位時間																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	240 単位時間																																	
総授業時数	単位																																	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																	
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																	
うち必修授業時数	単位																																	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																	
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2人</td> </tr> </table> <p>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</p> <p>2人</p>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	2人																
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0人																																	
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2人																																	
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																	
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																	
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																	
計	2人																																	

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで、人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生を対象とする「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員との意見交換により、企業視点を軸としてホテル業界において必要とされる知識・技能の修得を目指す。また、実践の機会として設定するホテル実習・ブライダル実習は、学生が職務内容と必要な適性を明確にし、具体的なキャリアプランを構築するための取り組みとする。実務を経験し、適切な指導と評価を受けることで学内の学習との相乗効果を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とし、教育課程編成委員会を設置する。尚、委員会では、次に掲げる事項を審議する。
①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
③教科書・教材の選定に関する事項
④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項
カリキュラム会議では、教育課程編成委員会の審議内容を基に、授業科目の改善や新規開設、授業内容や授業方法の改善を検討する。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
小野 聡之	九州B.M.C. 会長	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	①
三上 結樹乃	株式会社 ディアーズ・ブレイン 人材開発部 人材開発グループ 主任	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	③
浦川 実子	麻生外語観光&ブライダル専門学校 校長代行補佐	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
中村 直輝	麻生外語観光&ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科 リーダー	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
瀧口 恵子	麻生外語観光&ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科 リーダー	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
東 まゆみ	麻生外語観光&ブライダル専門学校 ブライダル・ウェディング科 教員	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月15日 17:00～17:30

第2回 令和4年10月12日 16:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

ブライダル業界の現場で職種毎に活用可能な検定や知識をアドバイス頂き、コース別に取得できるよう新たに3つのコースを設置(ウェディングプランナーコース、ドレスフラワーコース、ホテルウェディングコース)した。また実習(ホテル・ブライダル実習とブライダル実習)においての評価方法に関するアドバイスを頂き評価表を一部修正した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、将来ブライダル業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。具体的には、実践の機会であるブライダル実習を設定し、職務内容と職業適性を認識させることで、学生自らが具体的なキャリアプランを構築することを可能にする。また、実務を経験し、指導・評価を受けることにより学内での学習との相乗効果を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目の担当教員と連携している企業とで、事前に実習内容を協議し詳細に決定するとともに、学生の学修成果の評価指導についても事前に定める。ブライダル業界において必要な知識や技術を修得できるよう、式場や衣裳店などで実際に接客し、修得の進捗は学生が専用の実習ノートに記録する。実習成果は、この記録にて確認する。実習先企業の実習担当者が学生の評価票を作成し、担当教員がその評価票を基に最終評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル・ブライダル実習(200時間)	企業連携により実施する。200時間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また、各ホテル及びブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ	ホテル雅叙園東京、 明治記念館、パレスホテル
ブライダル実習(40時間)	企業連携により実施する40時間のブライダル実習を通してブライダルの現場にの仕事を理解し、必要とされる知識・技能を取得する。	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 株式会社アルカディア 高見株式会社 株式会社ディアーズ・ブレイン 株式会社ノバレーゼ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	せとうちDMO×HOTERESセミナー	連携企業等:	株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション
期間:	2022年6月13日	対象:	教員(東 まゆみ)
内容:	ホテルや旅館の運営やマネジメントに関する研修		
研修名:	ブライダルプランナー検定対策指導セミナー	連携企業等:	全米ブライダルコンサルタント協会(ABC協会)
期間:	2022年12月13日	対象:	教員(中村 直輝)
内容:	『ブライダルプランナー検定2級』の指導要領に関する研修		
研修名:	認定講師登録セミナー	連携企業等:	全米ブライダルコンサルタント協会(ABC協会)
期間:	2023年2月10日	対象:	教員(中村 直輝)
内容:	ABC協会における認定講師登録の為の研修(テキストを使用しての指導法や検定の内容など)		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	体系的カリキュラム・シラバス作成	連携企業等:	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団(TCE財団)
期間:	2022年9月16日	対象:	教員(中村 直輝)
内容:	授業におけるカリキュラム及びシラバスの作成についての研修		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ブライダルセミナー	連携企業等:	九州B.M.C.
期間:	2023年7月23日	対象:	教員(東 まゆみ)
内容:	ホテルウエディングの魅力をお客様に伝えるための研修(ホテルウエディングが活性化するには)		
研修名:	ブライダルプランナー検定対策指導セミナー	連携企業等:	全米ブライダルコンサルタント協会(ABC協会)
期間:	2023年12月12日	対象:	教員(中村 直輝)
内容:	『ブライダルプランナー検定2級』の指導要領に関する研修		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	授業におけるファシリテーション研修 対面授業編	連携企業等:	株式会社ONDO
期間:	2024年3月11日	対象:	教員(中村 直輝、 瀧口 恵子、東 まゆみ)
内容:	ファシリテーションの場面設定、意見の引き出し方、意見のまとめ方、板書のコツなど、対面授業時のファシリテーションのポイントについて学ぶ。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者等、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教員の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

ホテル・ブライダル実習やブライダル実習に関して、実習前に業界の業務の流れや規律を事前に伝えておくことで「円滑に実習を勧められるのでは」とのご意見を頂き授業や壮行会でも業務や規律に関する指導を増やした。また業界での集客方法の現状についての話も伺い、SNSが非常に重要になっており学生募集にも通じる部分が必ずあると感じ学科のinstagramの更新頻度を増やした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
大塚 加代	保護者等	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	保護者等
高島 妙美	卒業生	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	地域住民
篠崎 博	福岡県立嘉穂東高等学校 学校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	高等学校関係者
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
今林 麻美	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部_旅客サービス3課 マネジャー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
倉智 和樹	ANA福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 貨物郵便課 マネジャー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
伊賀上 恵子	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2023/hyoka.pdf>

公表時期: 令和5年9月29日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、資格実績、就職実績
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生キャンパスライフ、留学生ASOの就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生学べる分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://asojuku.ac.jp/aftc/>

公表時期: 令和5年7月31日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和5年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ホテル概論	ホテルのしくみを知り、ホテルの中でのブライダルについて学ぶ	1前	32		○			○		○		
2	○		ウエディングセレモニー論A	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	30		○			○		○		
3	○		ウエディングセレモニー論B	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1後	30		○			○		○		
4	○		レストラン実務	レストラン部門のサービスについて実践形式で学ぶ。	1前	32			○		○		○		
5	○		ブライダル衣裳 I	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1前	15			○		○			○	
6	○		宴会実務	宴会部門のサービスについて実践形式で学ぶ。	1後	30			○		○		○		
7	○		ブライダルフラワー I A	ブライダルの現場で必要な基本の花の取り扱い方、花の流通を習得する	1前	15			○		○		○		
8	○		ブライダルフラワー I B	ブライダルの現場で必要なブーケ、装花の知識を習得する	1後	15			○		○		○		
9	○		ブライダル接客演習 I	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	30			○		○				
10	○		パーソナルカラー I A	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラーについての基礎を学ぶ	1前	15		○			○		○		
11	○		パーソナルカラー I B	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラーについての基礎を学ぶ	1後	15		○			○		○		
12	○		ブライダルメイク A	ブライダル業界で働く上で必要な基本メイクを学ぶ	1前	15			○		○			○	
13	○		ブライダルメイク B	ブライダルの簡単なヘアメイクがお客様にできるようになる技術を養う	1後	15			○		○			○	

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和5年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
14	○			メイク検定対策	セルフメイクによる基礎から仕上げまでを身に付ける	1前	30			○		○		○		
15	○			ブライダル産業演習 I A	ブライダル施設の知識を深め、専門式場やチャペル見学によりブライダル業界についての知識を深める	1前	15			○		○		○		
16	○			ブライダル産業演習 I B	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界の視野を広げる	1後	15			○		○		○		
17	○			ブライダルネイル	ネイルの基礎を学び、ブライダルにおけるネイルの基本も学ぶ	1後	15			○		○			○	
18	○			サービス接客 I	サービス接客検定を前提に、接客の基本動作、言葉遣いを習得する	1前	45			○		○		○		
19	○			文書表現 I	文章検定 4 級を目指し、国語力を身に付ける	1後	30			○		○			○	
20	○			一般教養 I A	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1前	15			○		○		○		
21	○			一般教養 I B	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1後	15			○		○		○		
22	○			SPI I	就職試験筆記対策として学ぶ	1後	30			○		○		○		
23	○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1後	30			○		○			○	
24	○			PowerPoint	お客様への提案や、チラシ、資料などを作成する力をつける	1後	30			○		○			○	
25	○			ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す	1後	15			○		○			○	
26	○			キャリアデザイン I A	ブライダル実習の準備、学生紹介シートの作成する	1前	32			○		○		○		

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和5年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
27	○			キャリアデザインIB	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1後	15			○		○		○		
28	○			GCB I	感謝心と思いやりの教育	1前	15		○			○		○		
29	○			就職実務	就職活動に向けての心構えや試験対策などを実施	1後	30		○			○		○		
30	○			ホテル・ブライダル実習	ホテル及びブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1前	200				○		○		○	○
31	○			ブライダル実習	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1後	40				○		○		○	○
32			○	業界インターンシップ	ブライダル業界で仕事をするにより、現場に早く慣れ、知識を見つけることができる	1後	40		○				○		○	
33	○			国家試験対策	ブライダルコーディネーター技能検定取得を目指す	2後	45		○			○		○		
34	○			パーソナルカラーⅡA	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラーリスト検定3級の取得を目指す	2前	60		○			○		○		
35	○			パーソナルカラーⅡB	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラーリスト検定2級の取得を目指す	2後	30		○			○		○		
36		○		ブライダルコーディネーター演習(※Aドレス・フラワー専攻)	模擬結婚式に向けて、ドレスコーディネーター業務・ブライダルメイク・フラワーコーディネーター業務を学ぶ。	2前	96		○			○		○	○	
37		○		ブライダルコーディネーター演習(※Bプランナー専攻)	模擬結婚式に向けて、プランナー関連業務・音響照明・MC業務を学ぶ。	2前	96		○			○		○	○	
38		○		レストランサービス技能検定対策A(※Cホテル専攻)	HRS検定の取得を目指し、筆記・実技の対策授業を行う。	2前	96			○		○		○		
39		○		ブライダル衣裳Ⅱ(※Aドレス・フラワー専攻)	ドレスやタキシード、和装についての知識を深めドレススタイリスト検定取得を目指す	2後	30			○		○			○	

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和5年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
40		○		プランナー検定対策(※Bプランナー専攻)	国内外のブライダルに関する知識を学び、ブライダルプランナー検定2級取得を目指す	2後	30			○		○		○		
41		○		レストランサービス技能検定対策B(※Cホテル専攻)	HRS検定の取得を目指し、筆記・実技の対策授業を行う。	2後	30			○		○		○		
42	○			和装着付け演習	和装を自分にも相手にも着付ができる力を養う	2前	30		○			○				○
43	○			イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う	2前	30			○		○		○		
44	○			ブライダルマーケティング	ブライダル市場の状況や、経営について学ぶ	2後	30		○			○				○
45	○			ブライダルフォト演習	ブライダル業界で必要な映像技法を学ぶ	2後	15			○		○				○
46	○			海外ウエディング概論	日本の海外ウエディングの歴史を学ぶと共に、現在の海外ウエディング事情を学ぶ	2後	15			○		○				○
47	○			ブライダル接客演習Ⅱ	ブライダルの各場面の現場での接客のやり方を学ぶ	2後	30		○			○				○
48	○			模擬結婚式	模擬結婚式の企画・準備・運営を各専攻に分かれて進めていく	2後	90			○		○	○	○		
49	○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	2前	30		○			○		○		
50	○			テーブルコーディネイト演習	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30			○		○		○		
51	○			マナープロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30			○		○				○
52	○			ブライダル産業演習Ⅱ	式場の違いを学び、現場のスタッフより仕事を学ぶ	2前	15			○		○		○		

(商業実務専門課程ブライダル・ウエディング科) 令和5年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
53	○			文書表現Ⅱ	文章検定3級を目指し、文章の構成作り方を学び就職試験に活かす	2前	30		○			○			○	
54	○			SPIⅡ	就職試験に備えて筆記対策をする	2前	30		○			○		○		
55	○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	2前	30			○		○				○
56	○			イラストレータフォトショップ	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2後	30			○		○				○
57	○			手話	結婚式場の現場で案内、誘導ができるレベルを目指して学ぶ	2後	30			○		○				○
58	○			キャリアデザインⅡA	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	2前	30			○		○		○		
59	○			キャリアデザインⅡB	社会人になるにあたって、必要な知識を身につける	2後	30			○		○	○	○		
60	○			GCBⅡ	「志」の大切さについて学び、学生各人の目標設定をおこなう。	2後	15		○			○		○		
合計						60	科目	2029			単位時間					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は次のとおりである。 (1) 当該学科の修業年限以上在学していること (2) 学則に定める当該学科所定の全ての科目に対し履修認定を受けていること (3) 卒業基準検定を取得していること (4) 学年の出席率が90%以上であること 以上の要件に該当しない者は、卒業判定会議により判定を行う。	1学年の学期区分	2期
学則に定める教育課程に基づき、全ての必修科目及び選択必修科目の中から指定された授業時間数の科目を履修すること。選択必修科目のうち、※A(ウエディングプランナーコース)または※B(ドレスフラワーコース)のいずれかを選択して履修すること。	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。